

平成22年1月26日
消費者庁

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 10件
(うち屋外式ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)1件、
ガスこんろ(分離型)(ガソリン兼用)1件、液体燃料用ボトル1件、
ガスこんろ(LPガス用)2件、石油ストーブ(開放式)4件、
石油こんろ1件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 7件
(うちリチウムポリマーバッテリー(ラジオコントロール玩具用)1件、
電気カーペット3件、電気冷蔵庫1件、鍋1件、生ごみ処理機1件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 5件
(うち蓄熱式電気暖房器1件、電動車いす(ハンドル形)1件、
電気衣類乾燥機1件、電子レンジ1件、電気毛布1件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、第三者判定委員会において、
審議を予定している案件 0件
該当案件無し

※1.～4.の詳細は別紙のとおりです。

5. 留意事項

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) シャープ株式会社が製造した電気冷蔵庫(管理番号A200900291)

① 事故事象及び再発防止策について

(経済産業省と同時公表)

シャープ株式会社が製造した電気冷蔵庫において、当該製品を開閉中に扉が外れて落下し、足に当たって重傷を負う重大製品事故が平成21年6月27日に発生しました。

他に同様な事故はこれまでに3件発生しています。(いずれも軽傷)

調査の結果、当該製品の扉を閉める際に、冷蔵室と冷蔵室扉の間に庫内の物が挟まった状態で扉を開閉することによりドアカム(ドアの開閉を補助する部品)とヒンジ(ドアを保持する部品)が干渉し、衝撃が加わり、この状態が繰り返されたことによりドアカムの一部が破損して扉が外れたものと判明しました。

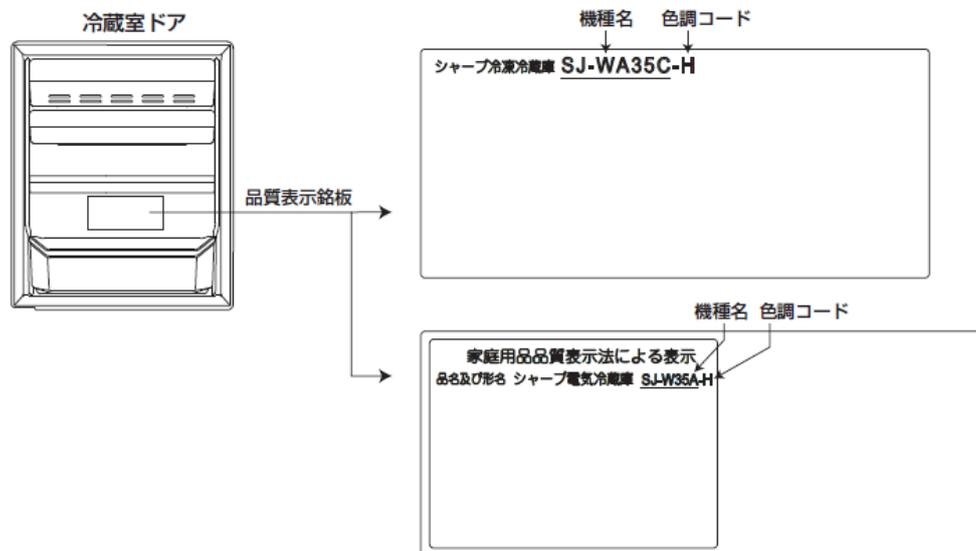
このため同社では、今後も同様の事故が発生するおそれがあることから、本日、プレスリリースを行うとともに、ホームページへの掲載等により使用者に周知し、対象製品について無償で点検・部品(ドアカム及びヒンジ)交換を行うこととしました。

②対象製品等

製品名：冷凍冷蔵庫

対象機種	製造期間	対象台数	対象機種	製造期間	対象台数
SJ-350JB-H	1997/12~1998/3	15,600台	SJ-W358D-G/H	1998/2~1998/11	6,500台
SJ-380JB-H	1997/12~1999/2	6,300台	SJ-W359D-C/H	1998/12~2000/3	10,200台
SJ-429EX-H	1999/3~1999/11	8,000台	SJ-W35A-G/H	1996/12~1997/11	73,380台
SJ-440JB-H	1997/12~1998/4	1,900台	SJ-W35B-G/H	1997/10~1998/11	74,920台
SJ-489EX-H	1999/2~1999/12	10,050台	SJ-W429E-H	1999/3~1999/10	1,800台
SJ-E35KC-H	1998/11~2000/3	26,300台	SJ-W45CD-H	2000/4~2001/3	15,000台
SJ-E410JB	1998/4~1999/1	7,800台	SJ-W489E-H	1999/3~1999/11	1,100台
SJ-E42KC-H	1999/3~1999/12	10,600台	SJ-WA35C-C/H	1998/10~2000/3	130,672台
SJ-E48KC-H	1999/3~1999/10	7,200台	SJ-WA38C-H/P	1999/4~2001/8	49,520台
SJ-EX357-H	1997/3~1998/2	20,300台	SJ-WA41B-G/H	1998/3~1999/1	45,565台
SJ-EX418-H	1998/3~1999/1	10,700台	SJ-WA42C-C/H	1999/2~1999/12	43,410台
SJ-EX447-H	1997/2~1998/1	29,700台	SJ-WA48B-G/H	1998/2~1998/12	32,800台
SJ-EX488-H	1998/2~1998/12	16,500台	SJ-WA48C-C/H	1999/2~2000/1	21,100台
SJ-LA410-H	1998/4~1999/1	8,300台	SJ-WD38C-H	2000/4~2001/7	7,700台
SJ-LA429-H	1999/3~1999/12	8,800台	SJ-WE38A-G/H	1997/2~1997/12	68,245台
SJ-LA480-H	1998/4~1998/12	4,100台	SJ-WE38B-G/H	1997/11~1999/2	47,220台
SJ-LA489-H	1999/3~2000/1	5,600台	SJ-WE44A-G/H	1997/1~1997/10	54,300台
SJ-R35C	1999/8~2000/12	1,510台	SJ-WE44B-G/H	1997/10~1999/12	48,520台
SJ-V35WB-H	1998/3~1998/9	3,400台	SJ-WH350-C	1997/3~1997/11	8,400台
SJ-V35WC-H	1999/4~2000/3	4,500台	SJ-WH380-C	1997/3~1997/11	7,900台
SJ-V38WB-H	1998/3~1999/2	2,800台	SJ-WJ440-H	1997/2~1997/12	4,300台
SJ-V42WC-H	1999/4~1999/11	2,400台	SJ-WS350-H	1997/3~1997/8	1,700台
SJ-V44WB-H	1998/4~1998/12	1,500台	SJ-WX42C-A/V/G	1999/3~1999/6	3,000台
SJ-V48WC-H	1999/4~1999/11	1,500台	SJ-WX48C-A/V/G	1999/3~1999/7	2,100台
計					974,712台

対象製品の確認方法：



③事業者の対応

対象製品を設置している場所に訪問し、ドアカム及びヒンジの強度を増強するなどの設計変更を行った対策部品との無償交換を行う。

④事業者の告知

- ・プレスリリース：1月26日（火）
- ・事業者ホームページへの情報掲載：1月26日（火）

⑤消費者への注意喚起

上記リコール対象製品をお持ちの方は、下記問い合わせ先に速やかにご連絡ください。

(シャープ株式会社の問い合わせ先)

フリーダイヤル：0120-404-511

受付時間：9時～18時（月～土曜日）

9時～17時（日曜・祝日）

ホームページ：<http://www.sharp.co.jp/>

(2) 松下電工株式会社（現 パナソニック電工株式会社）が製造した電気カーペット（管理番号A200800847、A200801013、A200900285）

①事象及び再発防止策について

松下電工株式会社（現 パナソニック電工株式会社）が製造した電気カーペットにおいて、当該製品を使用中に、コントローラ部分が焼損する事故が平成20年11月11日、同年12月12日及び平成21年6月26日に発生しました。他に同様な事故はこれまでに5件発生しています（いずれも人的被害無し）。

当該製品の温度コントローラのリレー接点回路には、リレーの寿命を延ばすために接点の溶着を回避する機能が内蔵されていました。そのため、長期間の使用が可

能となったが、リレー接点が開閉を重ねることにより、金属粉が温度コントローラのリレー接点回路の内部に堆積し、湿気の影響も受け、ショートし、コントローラのケースを焼損したものと判明しました。

このため同社では、今後も同様の事故が発生するおそれがあることから、平成22年1月25日にプレスリリースを行うとともに、26日に新聞社告を掲載する等により使用者に周知し、対象製品について無償で製品交換を実施することとしました。

②対象製品：製品名、品番、製造期間、対象台数

a. ナショナル松下電工ブランド

製品名	品番	製造期間	対象台数
ホットカーペ	DR223、DR230、DR2300、 DR2301、DR2302、DR2305、 DR2312、DR232、DR2320、 DR2321、DR23220、DR2327、 DR2330、DR235、DR253、 DR2801、DR323、DR330、 DR3300、DR3301、DR3302、 DR3305、DR331、DR3312、 DR332、DR3320、DR3321、 DR33220、DR3327、DR3330、 DR3801	1992年2月 ～2002年12月	174,703
ホットカーペ ゆかピタ	DR213、DR2133、DR214、 DR2144J、DR2145、 DR2145J、DR2146J、 DR2147J、DR215、DR240、 DR2401、DR241、DR2416、 DR242、DR243、DR244、 DR246、DR249、DR254、 DR276、DR277、DR278、 DR313、DR3133、DR314、 DR3144J、DR3145、 DR3145J、DR3146J、DR315、 DR31560、DR340、DR3401、 DR341、DR3416、DR342、 DR343、DR344、DR346、 DR349、DR376、DR377、 DR378、 DR5210、DR8215、 DR5310、DR8315、	1995年2月 ～2004年12月	934,730
ホットカーペ	DR2006、DR3006、DR2507、	1998年2月	24,095

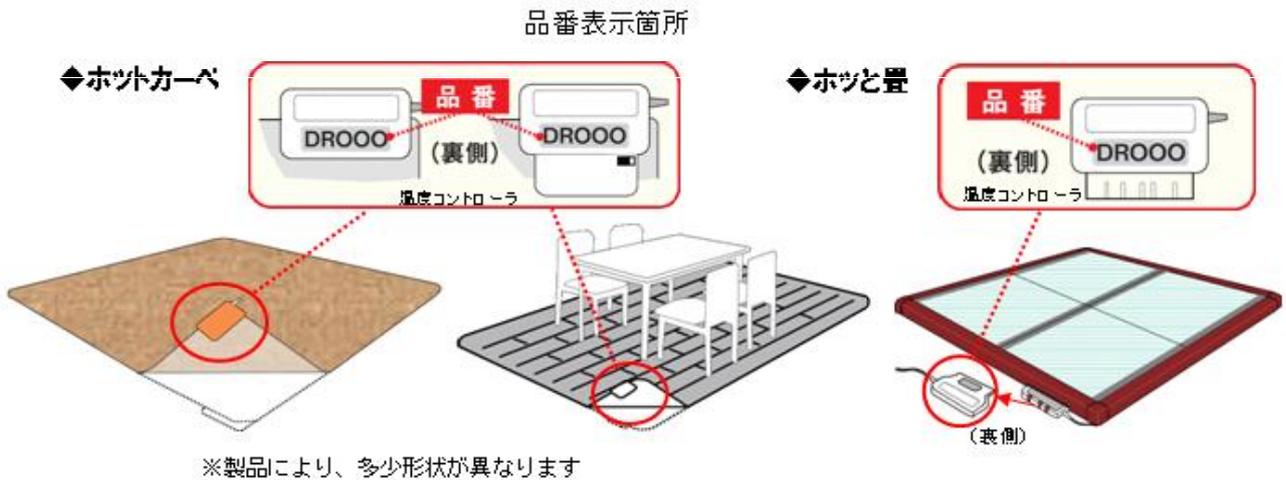
ゆかピタ フローリング調	DR3007、	～2001年12月	
ホットカーペ ゆかピタ LDカーペ	DR2508、DR3008、	2001年2月 ～2002年12月	7,929
ダイニングルーム 用ホットカーペ	DR2509、DR3009、	2002年2月 ～2003年12月	4,856
ホットカーペ キットサンゆかピタ アレル減	DR5221、DR5222、	2000年2月 ～2002年12月	1,759
ホッと畳	DR6200、DR6300、	2002年2月 ～2005年3月	2,276
計			1,150,348

b. コープブランド（生活協同組合 コープこうべ及び大阪北生活協同組合
販売品）

対象品番	製造期間	対象台数
EC-8232 (ナショナル松下電工ブランド DR230と同型)	1993年2月 ～1993年12月	1,500
EC-8242 (ナショナル松下電工ブランド DR232と同型)	1994年2月 ～1994年12月	1,982
EC-8233 (ナショナル松下電工ブランド DR253と同型)	1993年2月 ～1994年12月	4,000
EC-2334 (ナショナル松下電工ブランド DR330と同型)	1993年2月 ～1993年12月	2,000
EC-2344 (ナショナル松下電工ブランド DR332と同型)	1994年2月 ～1995年12月	1,851
計		11,333

合計： 1,161,681台

対象製品の確認方法：



③事業者の対応

代替品との無償製品交換を行う。

④事業者の告知

- ・プレスリリース：1月25日（月）
- ・事業者ホームページへの情報掲載：1月25日（月）
- ・新聞での告知：1月26日（火）

⑤消費者への注意喚起

上記リコール対象製品をお持ちの方は、直ちに使用を中止していただき、下記問い合わせ先に速やかにご連絡ください。

なお、回収対象製品にはコープブランドの（生活協同組合 コープこうべ 及び大阪北生活協同組合 販売品）製品もあります。

（パナソニック株式会社及びパナソニック電工株式会社の問い合わせ先（ナショナル電気カーペット対応窓口）

フリーダイヤル：0120-550-703

受付時間：7時～23時（2月14日まで毎日）

9時～21時（2月15日以降、日・祝日を除く）

ホームページ：<http://panasonic.co.jp/ha/s/hot-carpet/>

（パナソニック株式会社ホームページ）

<http://panasonic-denko.co.jp/hot-carpet/>

（パナソニック電工株式会社ホームページ）

(3) 株式会社グループセブジャパンが輸入・販売した鍋（管理番号A200900898）

①事象及び再発防止策について

株式会社グループセブジャパンが輸入し、販売した鍋で、取っ手のレバーの固定金属部品に一部成形が不十分なものが混ざり、レバーの固定が不十分になることがあり、取っ手の保持機能が低下し、外れてしまい、負傷する事故が4件（重傷事故

3件（本件含む）、軽傷事故1件）発生しております。

当該製品は、平成16年11月16日に新聞社告を行い、部品（専用取っ手）の無償送付を呼びかけています。

②対象製品等

対象機種	ティファール インジニオシリーズ
販売期間	平成15年2月～平成16年10月
対象台数	約490,000セット
進捗率	22.0%（平成21年12月28日現在）

③消費者への注意喚起

上記リコール対象製品をお持ちの方で、まだ製造事業者の行う送付を受けておられない方は、直ちに使用を中止していただき、下記問い合わせ先に速やかにご連絡ください。

（株式会社グループセブジャパンの問い合わせ先）

ナビダイヤル：0570-077772

受付時間：10時～17時

（土・日・祝日と年末年始・夏期休暇などは除く。）

ホームページ：<http://www.t-fal.co.jp/Consumer+service/TFal+news/TFal+news.htm>

(4) 日立多賀テクノロジー株式会社が製造した生ごみ処理機

（管理番号A200900908）

①事件事象及び再発防止策について

日立多賀テクノロジー株式会社が製造した生ごみ処理機で、製品の処理槽内部から漏れた生ごみの水分が底面ヒータ内部に侵入し、ヒータ線が劣化、断線して発煙・出火に至る事故が発生しました。他に同様な事故はこれまでに7件（本件除く）発生しています。

当該製品は、平成16年11月5日に新聞社告を行って以降、平成19年6月5日に新聞に再社告を掲載し、ダイレクトメールによる告知の実施などにより、無償の製品交換を呼びかけるとともに、他のサービス訪問時においても対象製品を探しています。

②対象製品等

生ごみ処理機対象機種一覧

型式	製造番号
BGD-X150	全数対象
BGD-X150SK	4000001～4000010
BGD-X180	4000001～4006727

製造期間	平成15年3月～平成16年10月
改修対象台数	19,878台
改修率	86.3%（平成22年1月6日現在）

③消費者への注意喚起

上記リコール対象製品をお持ちの方で、まだ製造事業者の行う回収を受けておられない方は、直ちに使用を中止していただき、下記問い合わせ先に速やかにご連絡ください。

(日立多賀テクノロジー株式会社の問い合わせ先)

フリーダイヤル：0120-34-0528

FAXフリーダイヤル：0120-34-0538

受付時間：9時～17時（土・日・祝日と年末年始・夏期休暇などは除く。）

ホームページ：<http://kadenfan.hitachi.co.jp/bgd3/>

(本発表資料の問い合わせ先)

消費者庁消費者安全課（製品事故情報担当）

担当：中嶋、服部、榎本

電話：03-3507-9204（直通）

(シャープ株式会社が製造した電気冷蔵庫に関する問い合わせ先)

経済産業省商務流通グループ製品安全課製品事故対策室

担当：横田、吉津、鈴木

電話：03-3501-1707（直通）

(松下電工株式会社（現 パナソニック電工株式会社）が製造した電気カーペットに関する問い合わせ先)

(日立多賀テクノロジー株式会社が製造した生ごみ処理機に関する問い合わせ先)

経済産業省商務流通グループ製品安全課製品事故対策室

担当：横田、吉津、山崎

電話：03-3501-1707（直通）

(株式会社グループセブジャパンが輸入・販売した鍋に関する問い合わせ先)

経済産業省商務流通グループ製品安全課製品事故対策室

担当：横田、中村、鈴木

電話：03-3501-1707（直通）

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A200900899	平成22年1月14日	平成22年1月21日	屋外式ガス給湯付 ふろがま(都市ガス 用)	RFS-2400SA	リンナイ株式会社	火災	火災が発生し、現場に当該製品があった。出 火元も含め、現在、原因を調査中。	三重県	製造から10年 以上経過した 製品。
A200900900	平成21年11月30日	平成22年1月21日	ガスこんろ(分離 型)(ガソリン兼用)	P-MF-EX(プリ ムスブランド)	イワタニ・プリムス株 式会社(プリムスブラ ンド) (輸入事業者)	火災 重傷1名	当該製品を点火しようとしたところ、異音ととも に出火し、当該製品及び周辺が焼損する火 災が発生し、1名が負傷した。現在、原因を調 査中。	福岡県	A200900901と 同一事故。
A200900901	平成21年11月30日	平成22年1月21日	液体燃料用ボトル	P-FB-06(プリ ムスブランド)	イワタニ・プリムス株 式会社(プリムスブラ ンド) (輸入事業者)	火災 重傷1名	ガスこんろ(分離型)(ガソリン兼用)を点火し ようとしたところ、異音とともに出火し、当該製 品及び周辺が焼損する火災が発生し、1名が 負傷した。現在、原因を調査中。	福岡県	A200900900と 同一事故。
A200900904	平成22年1月11日	平成22年1月21日	ガスこんろ(LPガス 用)	RBG-30VTFMS	リンナイ株式会社	火災	当該製品で調理中、排気口付近より出火し、 当該製品を焼損した。現在、原因を調査中。	愛知県	
A200900905	平成21年12月30日	平成22年1月21日	石油ストーブ(開放 式)	SX-E357WY	株式会社コロナ	火災	当該製品及び周辺が焼損する火災が発生し た。現在、原因を調査中。	佐賀県	
A200900906	平成22年1月13日	平成22年1月21日	石油ストーブ(開放 式)	RX-D18	株式会社コロナ	火災	当該製品及び周辺が焼損する火災が発生し た。現在、原因を調査中。	岡山県	
A200900909	平成22年1月8日	平成22年1月22日	石油ストーブ(開放 式)	R-375	株式会社トヨミ	火災 軽傷1名	火災が発生し、1名が軽傷を負った。現場に 当該製品があった。現在、原因を調査中。	東京都	

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A200900910	平成22年1月8日	平成22年1月22日	石油ストーブ(開放式)	SY-35	株式会社コロナ	火災	当該製品に点火した状態で、外出し戻ると、当該製品及び周辺が焼損していた。現在、原因を調査中。	千葉県	
A200900911	平成22年1月5日	平成22年1月22日	石油こんろ	SH	株式会社コロナ	火災	火災が発生し、現場に当該製品があった。現在、原因を調査中。	滋賀県	
A200900913	平成22年1月16日	平成22年1月22日	ガスこんろ(LPガス用)	GC60-2HAL	タカラスタンダード株式会社	火災 軽傷2名	調理油過熱防止装置のついていない側のこんろで調理中、その場を離れたところ出火し、当該製品及び周辺が焼損し、2名が軽傷を負った。使用状況も含め、現在、原因を調査中。	香川県	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A200700519	平成19年8月5日	平成19年10月16日	リチウムポリマー バッテリー(ラジオ コントロール玩具 用)	LVX3700	有限会社エアクラフト	火災	ラジコン玩具用のリチウムポリマーバッテリーを充電中に発火した。 当該製品は、4セル1組のバッテリーを2組並列(8セル)にして使用されており、充電器の設定を間違えたために過充電となり発火したものと考えられる。なお、当該製品が廃棄されており、事故原因は特定できなかった。 取扱説明書には、充電器の設定を間違えない旨、充電中は充電器の側を離れない旨記載されている。	兵庫県	平成19年10月19日に経済産業省において、ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が否かが特定できていない事故として公表していたもの。
A200800847	平成20年11月11日	平成20年11月20日	電気カーペット	DR3007	松下電工株式会社 (現 パナソニック電工株式会社)	火災	当該製品から発煙し、コントローラの裏側が焼損し穴が開いていた。 事故原因は、当該製品の温度コントローラ内部のリレー接点回路には、リレーの寿命を延ばすために接点の溶着を回避する機能が内蔵されており、長期間の使用が可能となったが、リレー接点が開閉を重ねることにより、金属粉が温度コントローラのリレー接点回路の内部に堆積し、湿気の影響も受け、ショートし、コントローラのケースを焼損したものと考えられる。	栃木県	平成20年11月26日に、ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑わしい事故として公表していたもの。 平成22年1月25日からリコール実施。
A200801013	平成20年12月12日	平成20年12月25日	電気カーペット	DR214	松下電工株式会社 (現 パナソニック電工株式会社)	火災	当該製品のコントローラ内部のリレーケースが溶融した。 事故原因は、当該製品の温度コントローラ内部のリレー接点回路には、リレーの寿命を延ばすために接点の溶着を回避する機能が内蔵されており、長期間の使用が可能となったが、リレー接点が開閉を重ねることにより、金属粉が温度コントローラのリレー接点回路の内部に堆積し、湿気の影響も受け、ショートし、コントローラのケースが一部溶融したものと考えられる。	静岡県	平成21年1月7日に、ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑わしい事故として公表していたもの。 平成22年1月25日からリコール実施。

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A200900285	平成21年6月26日	平成21年7月9日	電気カーペット	DR3007	松下電工株式会社 (現 パナソニック電 工株式会社)	火災	当該製品のコントローラの一部を焼損し、周 辺の一部が焦げた。 事故原因は、当該製品の温度コントローラ内 部のリレー接点回路には、リレーの寿命を延 ばすために接点の溶着を回避する機能が内 蔵されており、長期間の使用が可能となっ たが、リレー接点が開閉を重ねることによ り、金属粉が温度コントローラのリレー接 点回路の内部に堆積し、湿気の影響も受け 、ショートし、コントローラのケースを焼 損したものと考えられる。	千葉県	平成21年7月 14日に、ガス 機器・石油機 器以外の製品 に関する事故 であって、製品 起因が疑わし い事故として公 表していたも の。 平成22年1月 25日からリコー ル実施。
A200900291	平成21年6月27日	平成21年7月10日	電気冷蔵庫	SJ-WE44B	シャープ株式会社	重傷1名	当該製品の扉を開閉していたところ、扉が外 れて落下し、足に当たり重傷を負った。 事故原因は、当該製品の扉を閉める際に、冷 蔵室と冷蔵室扉の間に庫内の物が挟まった 状態で扉を開閉する事によりドアカム(ドア の開閉を補助する部品)とヒンジ(ドアを保持 する部品)が干渉し、衝撃が加わり、この状 態が繰り返されたことによりドアカムの一 部が破損して扉が外れたものと考えられ る。	茨城県	平成21年7月 14日に、ガス 機器・石油機 器以外の製品 に関する事故 であって、製品 起因が疑わし い事故として公 表していたも の。 平成22年1月 26日からリコー ル実施。
A200900898	平成21年12月2日	平成22年1月21日	鍋	インジニオン シリーズ(ティ ファールブラン ド)	株式会社グループ セブジャパン(ティ ファールブランド) (輸入事業者)	重傷1名	当該製品で調理中、当該製品の取っ手が外 れ、熱湯がこぼれ火傷を負った。 事故原因は、取っ手のレバーの固定金属部 品に一部成形が不十分なものが混ざり、レ バーの固定が不十分となり、取っ手の保持 機能が低下し、外れたものと考えられる。	東京都	平成16年11月 16日からリコー ルを実施。
A200900908	平成21年12月11日	平成22年1月22日	生ごみ処理機	BGD-X150	日立多賀テクノロジ ー株式会社	火災	当該製品から出火する火災が発生し、当該製 品が焼損した。 事故原因は、製品内部から漏れた生ごみの 水分が底面ヒータ内部に侵入し、ヒータ線 が劣化、断線して発火したものと考えられ る。	兵庫県	平成16年11月 5日よりリコー ル実施。

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A200900902	平成21年12月19日	平成22年1月21日	蓄熱式電気暖房器	火災	当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。使用状況も含め、現在、原因を調査中。	北海道	
A200900903	平成22年1月11日	平成22年1月21日	電動車いす(ハンドル形)	死亡1名	当該製品を使用中、踏切内で電車にはねられ、死亡した。使用状況も含め、現在、原因を調査中。	大阪府	
A200900907	平成21年12月30日	平成22年1月22日	電気衣類乾燥機	火災	当該製品を運転中に、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び内容物が焼損した。現在、原因を調査中。	新潟県	
A200900912	平成22年1月15日	平成22年1月22日	電子レンジ	火災	当該製品で加熱後、ドアを閉じたところ、ブレーカーが落ち、当該製品から発煙、出火し、当該製品が焼損し、周囲が汚損した。現在、原因を調査中。	神奈川県	
A200900914	平成22年1月16日	平成22年1月22日	電気毛布	火災	当該製品を使用中、当該製品から発煙し、当該製品及び周辺が焼損した。現在、原因を調査中。	富山県	

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、第三者判定委員会において審議を予定している案件

該当案件無し

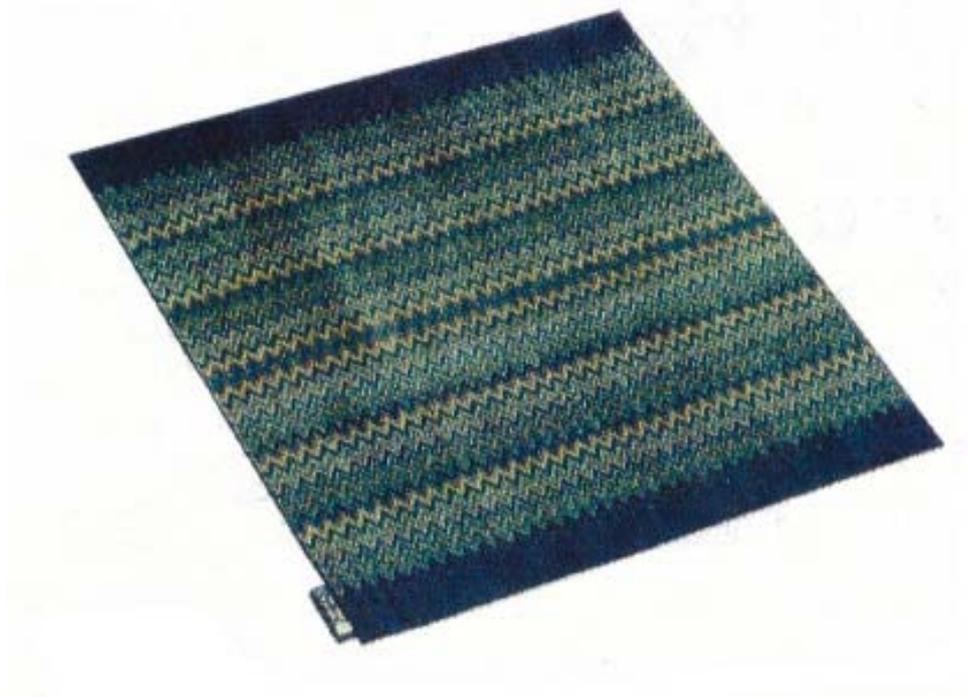
リチウムポリマーバッテリー（ラジオコントロール玩具用）
（管理番号：A200700519）



電気カーペット（管理番号：A200800847、A200900285）



電気カーペット（管理番号：A200801013）



電気冷蔵庫（管理号：A200900291）



鍋（管理番号：A200900898）



生ごみ処理機（管理番号：A200900908）

